

○ 本校の概要

〈生徒の様子〉・校内に活気があり、様々なことに一生懸命取り組む姿勢がある。気持ちが素直な生徒が多い。
 ・学習に対する姿勢はよいが、家庭学習など個人差がみられる。
 ・行事に対する思い入れが強い生徒が多く、クラス一丸・学年一丸となって大変熱心に取り組んでいる。

〈地域の様子〉・大きな繁華街にも隣接しているが、静かな落ち着いた住宅地となっている。
 ・地元を愛している方がたいへん多く、地域力も非常にある。
 ・保護者や地域の方々には学校にたいへん協力的で、様々な面で支援していただいている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	コメント
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしっかりと対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成を図っている。	〈学校評価アンケートの生徒3(3)のわかりやすい授業への工夫、4(4)いじめや暴力のない学校づくり、生徒・保護者1(3)保護者2(4)学校の雰囲気や生き生きとした活動についての集計〉 4 肯定的な回答が85%以上。 3 肯定的な回答が75%以上。	4: 3: 2: 1:	84% <これまでの取組> ・毎授業デジタル教科書を使う授業を心掛けた。 ・話し合い活動は定着した結果、生徒同士で意見を発表する機会が充実した。 <改善策> ・使用するICT機器や授業に偏りがないように使用していく。 ・他人の意見や考えを聞いて、新しい考えや発想ができるための指導も継続して実施する。	○英語の時間では生徒もオーラルの重要性を記載しているのが向えました。ICT機器を先生方が上手に利用しているのがわかりました。生徒が他者の人格尊重の大切さを理解しているのがわかりました。 ○直接、授業を拝見する機会を逃してしまいましたので、自己評価報告書と先生方のお話を伺い評価をさせていただきます。今は教科書だけで授業する時代ではないようですね。ICT機器等を積極的に活用し、楽しい授業→自然に興味が湧く→学力向上へ繋がってほしいと思います。 ○本校の概要にもあるように、志茂田中の生徒は素直だと思ふことがある。内に秘めたものはあると思うので、うまく引き出してあげてほしい。 ○校庭の工事が終了し、運動環境が整ったので、体力向上のための指導をお願いします。 ○先生と生徒との信頼の絆は強くともよい。
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4 肯定的な回答が85%以上。 3 肯定的な回答が75%以上。			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	2 肯定的な回答が60%以上。 1 肯定的な回答が60%未満。			
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	2 肯定的な回答が60%以上。 1 肯定的な回答が60%未満。			
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまづきや学習方法について、指導する。	〈生徒対象の学校評価アンケートの実施〉 4 学習の向上に関わる質問項目において、肯定的な回答が85%以上。 3 学習の向上に関わる質問項目において、肯定的な回答が75%以上。	4: 3: 2: 1:	67% <これまでの取組> ・放課後補習、土曜補習、定期考査前補習を実施した。 ・小中一貫教育の教科ごとの重点項目を定めた取組の実施。小中による教科分科会の実施し、各教科の重点項目を共有した。 <改善策> ・授業補助として、講師を活用して、生徒のつまづきのケアへの取組を進める。 ・学習のつまづきをケアするための情報交換、授業のあり方を検討していく。 ・区の学力効果測定の結果を検証し授業改善推進プランの作成を組織的に行う体制を構築する。	○志茂中での学校生活を好んでいる生徒がとて多いのは、挨拶・笑顔から伺えます。他に和するだけでなく自己研鑽に努める生徒がもっとも増えることを希求します。 ○個々の能力に合わせて指導していくのは大変です。先生方の指導力をいかして進めていって欲しい。 ○授業を基礎に学力向上の確認にもなる英検・漢検・数検を意図的に取り組み、一人一人の学力意識を高めていると思います。 ○学力の向上は大切な項目なので、成果評価2は残念な数値だと思ふ。ぜひ、3以上を目指して取組を強化してほしい。 ○「成果指標」は少し厳しいのでは。先生の満足度の問題だと思いますが、向上心の表れだと解釈しています。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	2 学習の向上に関わる質問項目において、肯定的な回答が60%以上。			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	1 学習の向上に関わる質問項目において、肯定的な回答が60%未満。			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	1 学習の向上に関わる質問項目において、肯定的な回答が60%未満。			
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	〈生徒対象の学校評価アンケートの実施〉 4 豊かな心の育成に関する質問項目において、肯定的な回答が85%以上。 3 豊かな心の育成に関する質問項目において、肯定的な回答が75%以上。 2 豊かな心の育成に関する質問項目において、肯定的な回答が60%以上。 1 豊かな心の育成に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満。	4: 3: 2: 1:	82% <これまでの取組> ・生活指導部会、校内委員会を週に一回設定し実施し情報の交換、共有に努めた。 ・道徳授業地区公開講座において、外部講師による講演、また、それに関わる道徳授業公開を実施した。 ・月に一度の「いじめアンケート」を実施し、いじめ以外の生徒の悩みについても組織的に対応した。 <改善策> ・「みらいのわたし」を基盤とした小中一貫教育への理解を深めさせる。 ・いじめを未然に防ぐ指導、教育環境づくりを充実させる。	○学校生活を自己肯定感等プラス評価で過ごしている生徒がたくさんいるのには安心させられます。生徒は知識面では他者尊重の大切さをよく理解していると彼らの会話から伺えます。 ○心の問題はデリケートです。生活や勉強にもつながる大切なものなので、何よりも優先してほしい問題です。 ○行事予定表や学校だよりで学校公開日に道徳授業の文字を目にします。親子で講座を受けることにより、学校だけでは伝えられないことを親子で話し合える良い機会だと思います。 ○豊かな心の育成はとても難しい課題だと思ふが、よく取組ができていと思う。 ○いじめは少ないようです。いじめに限らず、問題が生じた場合でも、生徒の主体性を重んじ、「学年集会」等で解決していくという仕組みはとても良いと思ふ。
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	2 豊かな心の育成に関する質問項目において、肯定的な回答が60%以上。			
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	1 豊かな心の育成に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満。			
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	1 豊かな心の育成に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満。			
プラン4 体力の向上と健康の増進	スポーツに親しむ心や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	〈保護者対象の学校評価アンケートの実施〉 4 体力の向上と健康の増進についての質問項目において、肯定的な回答が85%以上。 3 体力の向上と健康の増進についての質問項目において、肯定的な回答が75%以上。 2 体力の向上と健康の増進についての質問項目において、肯定的な回答が60%以上。 1 体力の向上と健康の増進についての質問項目において、肯定的な回答が60%未満。	4: 3: 2: 1:	65% <これまでの取組> ・車いすラグビー観戦、校内オリパラ展示、元オリンピック選手の講演、体育科教員からのオリパラ教育等の取組を充実させることができた。 <改善策> ・「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組については、各教科と連携した取組を深め、全校体制で取り組んでいく。	○生徒全体に占める割合はわかりませんが、体育系部活動を楽しんでいる生徒が非常に多いと思われ、朝の登校時も学校が楽しみという気持ちがあふれた姿を目にします。 ○早寝、早起き、朝ごはんは家庭がしっかりと取り組む事が当たり前ですが、それを学校も取り組むという事は、親としたりはすかしい限りです。この問題が当たり前にならなくなった事が問題です。 ○校庭がない中、ご苦労をされていると思ふます。先生方の努力は生徒さん達に伝わっていると運動会をはじめ区陸で感じます。 ○ほぼ全教員で取組を行ったという取組評価に対して、成果評価が2という保護者アンケートの結果が理解できなかったため、評価不可能とした。取組をしたが、成果が出なかったという事であれば、取り組み方の改善が必要ではないかと思ふ。 ○成果評価は低いのではないのでしょうか。己に厳しくという事だと思ふます。「3」以上だと思ふます。 ○部活動が盛んで活気があります。
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいつつ「食育」を推進する。	3 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が85%以上。			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	2 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が75%以上。			
		オリパラ教育の充実を図る。	1 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が60%未満。			
プラン5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	〈保護者対象の学校評価アンケートの実施〉 4 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が85%以上。 3 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が75%以上。 2 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が60%以上。 1 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が60%未満。	4: 3: 2: 1:	78% <これまでの取組> ・学校公開日の保護者・地域からの授業評価を教職員全体で共有し、授業改善に生かした。 ・主任教諭による若手教員への助言を積極的に進めた。 ・校内委員会、研修会による特別支援教育を推進した。 <改善策> ・研究発表会や授業研究会の成果を生かしたOJTをより積極的に行う。 ・個別に支援が必要な生徒への理解、対応の方法について、全校体制による共有を進める。	○保護者と地域は、校長先生以下教職員のみならず強い連携のもと、チームとしての力を発揮されることを期待していると思ふます。チーム志茂田として、すべての生徒・保護者の思いにお応え頂きたいと思ふます。 ○各学年6クラスの生徒人数になると教員の人数も増えます。人手が多いことはいい事ですが、反面、統一する難しさが表面化される傾向があります。今更ではありませんが、常に報連相を忘れずに対応して下さることをお願いします。 ○若手教員への助言や指導は今後も積極的に行ってほしい。 ○昨年、新校舎落成し、校庭も完成をみて、環境が飛躍的によくなりました。加えて、子どもたちの将来を見据えて熱心な先生方、将来が楽しみです。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	2 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が60%以上。			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	1 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が60%未満。			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	1 教員の指導力向上に関する質問項目において肯定的な回答が60%未満。			
プラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が60%以上。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	〈年度末に保護者対象のアンケート調査を実施〉 4 学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が85%以上。 3 学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が75%以上。 2 学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が60%以上。 1 学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満。	4: 3: 2: 1:	83% <これまでの取組> ・学年だより、学校だよりにより、学校からの発信を積極的に行った。 ・学校支援本部と連携した漢検、英検の実施。 ・生徒への地域行事へのボランティア活動参加を呼びかけた。 <改善策> ・ホームページの更新を定期的に行っていく。 ・一人一人の生徒のボランティアに対する参加意欲をさらに向上させる。	○学校だより等を町会、近隣の集合住宅に配布される等、積極的な情報発信の姿勢は評価に値すると存じます。また昨秋の台風時の避難場所事業は、地域が学校を支えるのとは逆方向、学校が地域に貢献した事例となると考えます。 ○志茂田の生徒はボランティア活動には積極的である。とても素晴らしい事ですので、これからも大切にしていきたいです。地域と学校は情報を共有していくように、力を注いでいきたいと思ふます。 ○先生方がどんなに尽力されても保護者や地域の力が必要になる時があると思ふます。そんな時いつでも共有できるよう、扉を開いて下さる学校であると嬉しいです。 ○HPの更新は定期的な更新が可能であれば、行った方がいいと思ふが、先生方はとても忙しいと思ふので、学期一回で十分だと思ふ。他の課題に努力を注いでください。 ○地域・学校・PTA、生徒も加えて一体となっている。
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	3 学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が75%以上。			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	2 学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満。			
		地域行事において、ボランティア活動に関わり、地域に貢献できる生徒を育成する。	1 学校・家庭・地域が一体となって進める教育活動に関する質問項目において、肯定的な回答が60%未満。			